浜田市協働のまちづくりフォーラム開催状況について

浜田市協働のまちづくりフォーラムを以下のとおり開催しました。

1　日　時　　令和2年2月11日（祝）　13時30分～16時10分
2　場　所　　いわみーる　体育室
3　参加者　　210名
4　趣　旨　　協働のまちづくりについて、基調講演やパネルディスカッションを通じて、住民主体のまちづくりに向けた意識の醸成を図り、多くの市民の声を条例に盛り込むための意見交換の場とする。
5　次　第　　13：00～　開会
13：40～　基調講演
14：50～　協働のまちづくり推進条例作成の中間報告
15：00～　パネルディスカッション
16：00～　閉会
6　内　容

（1）基調講演

香川大学連携・生涯学習センター所長 清國祐二氏を講師にお招きし、「これからのまちづくりと社会教育」と題して基調講演を行った。

講演内容
・「人」「つながり」「地域」つくりは、ともに考える場、話し合える場が必要であり、それが社会教育である。
・「価値の転換」を図り、頑張れること、頑張らないことを見極める。
・子供たちにも地域の話し合いの場に参加できる体制づくりが必要である。

（2）協働のまちづくり推進条例作成の中間報告

浜田市協働のまちづくり推進に関する条例検討委員会から検討状況の中間報告を行った。

（3）パネルディスカッション

浜田市協働のまちづくり推進に関する条例検討委員会の長畑　実会長をコーディネーターに、久保田章市浜田市長をはじめ、条例検討委員会が所

属する各団体の代表をパネラーとして「浜田市の協働のまちづくり」について意見交換を行った。

（パネラー）
浜田市長　久保田　章市
今福地区まちづくり推進委員会 岩﨑　敏氏
浜田市公民館連絡協議会　三浦　博美氏
NPO法人あったかいいねっと 植田 由香理氏
浜田市PTA連合会　分石 由紀江氏

（コーディネーター）
まちづくり推進に関する条例検討委員会
会長　長畑　実氏

初めに、浜田市長からは新市まちづくり計画から協働のまちづくりは進められており、この度新条例を制定し、改めて一体的なまちづくりの醸成を図ること、そしてこれからのまちづくりに対して期待していることについて述べた。

『団体の活動を通じて感じているまちづくりの課題について』

・お金と人が必要である。リーダーと企画力、自由度の高いお金が必要だ。
・協働という手助け、人という財産が必要である。
・縦割りの社会から横割りの共生という視点をまちづくりに入れていくことが必要である。
・我が事になっていない。子どもと一緒にまちを作っていくという気持ちと視点が課題である。

『みんなが幸せを感じるまち、希望溢れる浜田市にしていくためには』

・地域に企画力のある職員を貼り付ける地域担当制を取り入れ、知恵と地域に必要な情報の提供を得ることができる。
・地域コミュニティの拠点となる公民館の体制づくりが出来れば、地域住民が近くで様々なサービスが受けられ、いろんな活動ができ、地域に寄り添ったまちづくりができる。
・個人、小さなグループ、企業にある得意なことがあり、それを出し合った「得意バンク」を作り、それを循環させることでまちが動いていくと思う。
・人材が不足している今、考えること、行動していくこと、意識を変えることが魅力あるまちづくりに繋がると思う。

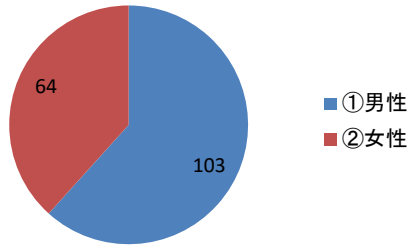
『会場からの課題や提案』

・まちづくりというが、まちは既にあり、そこに住んでいる人の心得がテーマである。今日来ている人達が勉強をしていければ、素晴らしい子供たちが育っていくと思う。
・「まちづくり」の意味がよくわからない。自分が行っている清掃活動や行政連絡員の仕事はまちづくり活動になるのか。

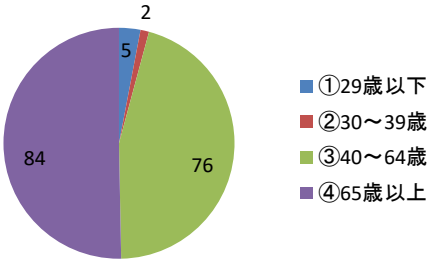
協働のまちづくりフォーラム　アンケート結果

令和2年2月11日実施

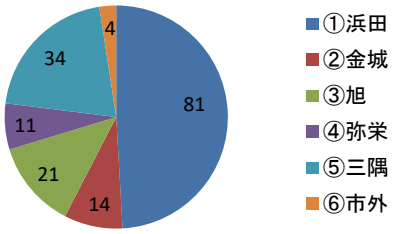
問1（1）性別



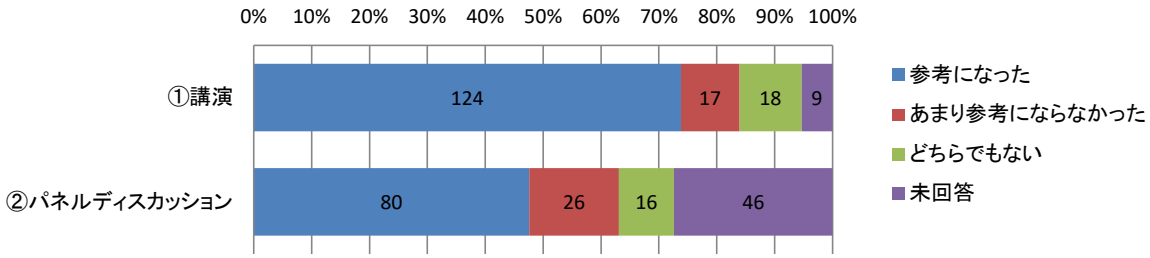
問1（2）年齢



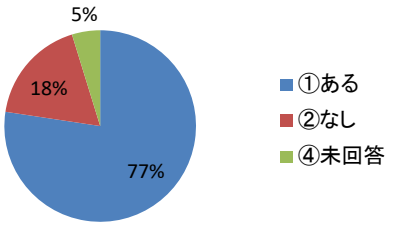
問1（3）地域



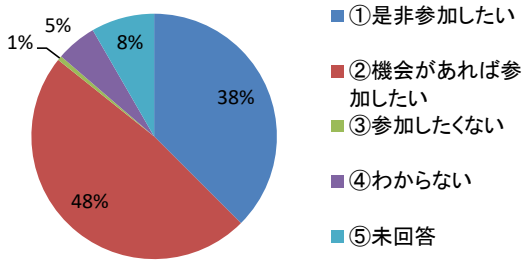
問2. フォーラムの内容



問3（1）まちづくり活動への参加



問3（2）今後、参加したいか

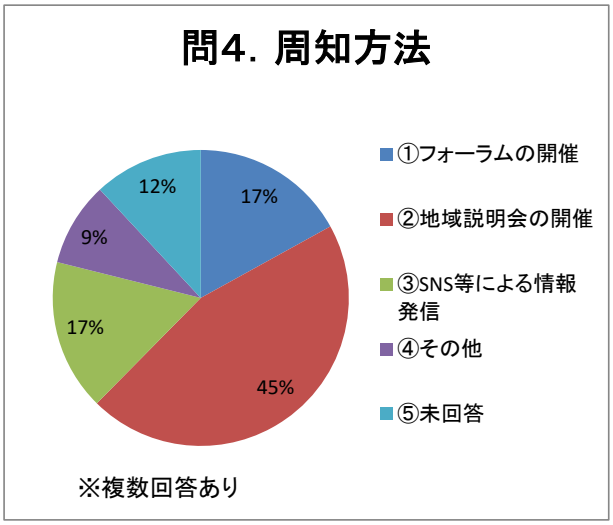


問3（3） まちづくり活動について、現在の課題

・人材不足、少子高齢化
・人材育成、リーダの育成
・若い人、子供たちの参加
・住民の無関心、住民意識の醸成
・「まちづくり」に対する認識の違い、地域差
・活動となる拠点、場所がない
・まちづくり総合交付金の配分、自由度
・移動手段の確保

問3（4） 市民が自ら取り組むために必要なこと

・人づくり、人材バンク
・住民の意識醸成
・住民（子供含む）にメリットや楽しみが感じられる企画、活動
・意見交換、対話、学びの場
・ふるさとへの愛着
・情報発信
・行政の牽引、専門家のサポート
・公民館機能の充実



④その他の方法

・若い人に人参作戦

・小さい単位での話し合い

・各人が自分の背中を見せる

・まちづくりおバカアイデアコンテスト　協働の飲み会

・ネットワーク型行政の本気度に基づく発信

・小中学校のPTAに向けたアプローチ、若い世代の考えを取り入れる

・楽しそうなイベント、楽しそうな所に人は集まってくる

・口コミ（参加した人が参画者となり人が増えていく、情報に踊らされない人たちの関わり）

問3(3)まちづくり活動における課題

1	地域防災
2	まちづくりの区域を公民館単位と捉えるなら義務教育機関の存続は必要と考えます
3	役員のなり手がいない、人材もいない
4	これまでの活動の内容がマンネリ化して同じことの繰り返しになっている
6	リーダ不足
7	地域の方がまちづくりについてどのような思いを持っているかが課題である。 課題をどのように地域の人に知ってもらうかが大切であるところ。 高齢者率50%以上の地域で高齢者の方の拠りどころ、集まるカフェなどどのように作っていくか
8	町内ごとにまちづくり交付金をもらっているのを取り上げたりするのは難しいと思うし、どのように進めるべきかがわからない。
9	旧浜田市は公民館単位の人口が大きすぎる。よって分館を増加するなど考える必要があると思う。旧郡部と旧浜田市とは公民館の活動に差がありすぎる。
11	こうしたまちづくりの活動があることを初めて知ったのでもっとPRや情報を知らせてほしい。
12	小中学校と地域のつながりが薄いため、地域活動へ積極的に参画できるよう配慮を。行政頼りでなく、危機感を持って住民が立ち上がらねば進まないと思う。
13	清国先生の講演を早くお聴きすればよかった。社会教育を全員で勉強する場をこれからも続けてください。現在の公民館が中心でもいいが、自治会がしっかりしているところは、自治会でもいいと思う。公民館を自治会が一緒に考えることが大事。地域によって違うと思います。
14	まちづくりを活発にするためには、人づくりが大切だと思っています。社会教育をしっかりと根付いた地域にするための行政・地域・学校の連携がとれていない。
17	農業を続けるのに跡継ぎがいない。農業をしたくない人が多い。まちづくり活動を引っ張ることができないし、したくない。農業空き地が目立ってきた。
18	移動手段がない方が今後増えること
19	行政の本気度が弱く、地域に向き合っていない。
21	高齢化。買い物、病院難民。
23	人口減少・高齢化・子供が0人など。（どこでもある課題とは思うが…）
25	多様性を認める。一体的も必要だが、個性も必要。
26	浜田市くらいの規模の市では、住民が共通の課題に絞り込むことが難しい。
27	交通、移動手段の確立
28	地域の主な役員だけで運営されており、若者の参加を 自治会・地区社協・まちづくり役員など高齢化人口減が進む中効果的、効率的な組織の見直しが必要。
31	自分のこととして一人一人が考えていくようになることが大事。 いろんな機会に情報発信していくことが大事。 子供たち（中高大学生）の教育、思いを聞くことが大事。
32	人材育成、意識の醸成
33	若者の参加協力が必要ですが、参加されていないことでまちづくりの活動がうまくできていない。
34	人材不足
35	関わる住民が地域の中で広く増えていくために足りないもの（人づくり）
36	まちづくり活動に課題があるのに、若者は発言しようとしないし会議にも参加しない。関心がない。
37	まちづくり活動のリーダーを立ち上げ、その組織の中に農業・生活・医療・福祉などの様々な団体のリーダーがいると思う。それらの団体のリーダーが、同じレベルの意識を持たなければとても難しいと思う。そのリーダーの教育学習も必要ではないか。
39	20～50代の壮年がまちづくりに関心を持つこと。併せて、行事活動に積極的に参加することを切望しています。
41	市全体とそれぞれの地域での思いが違うと思う。充分協議することが大切。
43	60歳代の若者に頑張ってもらいたい
44	本日のフォーラムも年輩が中心だったので若い方が中心となれば
46	関わろうとする人の不足。「まちづくり」は漠然としすぎていてよくわからない。例えばどのようなものか。
47	岩崎さんが言っておられたように、リーダーとそれに協力する人が必要。 自治会も各々やっていたのではいずれ行き詰まると思われるので、各自治会で実施していることを全体で行うことで課題解決できると思う。
48	積極的な方は一部で、無関心・非協力的な方が多い。 若い人の力が必要だが、仕事をしながらまちづくり活動に参加するのは難しい。

問3(3)まちづくり活動における課題

49	地域にあったやり方で進めていけない。取り決めは大事だが、もう少し緩やかにしてほしい。（交付金の使用にしばりがある） 最低限のしばりはOKです。ハード面には使えないとか。事務的作業が多すぎる。（書類の提出等）
50	組織が難しく見えて若い人が参加しにくいのかも
51	浜田市内の住人との意識の問題。旧那賀の対立意識。
52	市民が主体的にまちづくりに関わらなければならない 必要感を感じる余裕がない生活の忙しさ（子育て世代など）
53	働き方改革で賃金が低すぎる。全国一律にできないものか。 郷土資料館の説明会は若い人の参加が少なかったようだけど、若い人の意見を聞くことが大事ではないか。
54	まちづくりより地域づくりの方がよい。地域づくり条例の方がいいと思います。
55	儲けが生まれないから持続できるか不明。続けるほど負担感が募る。
56	地域内で課題の共有ができていない。話し合いの場が持たれていない。
57	役員が活動参加することが多すぎる
58	話し合いを重ねて一つ一つ地域課題に取り組むのはいいと思うが、出席者が固定化され、一人に係る役割が多くなりすぎる傾向がある。活動者が疲れてしまい、継続に問題が出てくる。 また、話し合い・対話を重視していくと時間がかかる。高齢化で人が少なくなるのは早い。活動のタイムスケジュールの取り方は？
59	高齢者ばかりで仕事をするのが無理になっています。
60	人材不足と参加者不足
61	縦割り　バラバラ　個々の活動に終わってる
62	気軽に集まって活動ができる場が少ない
63	活動の主力は65～80歳になっている。それと主婦層。 今後、若い人の参画をどうするのか。小中学校も地域になくて子供さんに地域の伝統等を伝える機会もない。
66	地域の景観の保持。老々介護に対する住民意識の高揚。
67	「まちづくり」という言葉は少子化になったために生まれた言葉である。今必要なのは少子化対策。
69	公民館の活動が一つの方向に偏りすぎている。館長の活動がオープンでない。 若い人の参加がないと思う。
70	住民一人一人が自分のこととして考えていくという意識を共有するのがまず課題かと思います
71	人口減少、高齢化。 まちづくり活動に取り組もうとする人がいない。
72	人づくり
73	現在まちづくりに参加していますが、若い人がほとんどいません。先が心配です。 特産物がないので何ができるか考えている。
74	大半の市民が無関心であるため、まちづくり組織ができない。今日のフォーラムのようにそこそこ関心のあるもの、又は関わっている者の研修も必要であるが、多くの無関心の市民に協働のまちづくりを進めなければ。今当たり前に受けているサービスが無くなること等の具体的な説明を全市民に伝えることを早急にしなければ何も変わっていかない。行政側が各々集落に出向いて真剣に口説く必要がある。
76	行政指導で地域に対し、今まで新たな組織委員会の設置が求められて、また人口減少する中で地域の役員すら選出できない状況であり、今後は更なる問題が発生する。
77	周辺部はまちづくりの取り組みに差はあるものの何とか取り組みを進めています。 浜田自治区においてはエリアをどう考えるのか。（人口割？地域割？） 自意識を高めるためにはどこまでの単位、地域をするのかまだまだ課題山積みだと受け止めています。
80	活動拠点がない。人材不足、人口減で空き家が増えました。
81	新たな活力に乏しい。特に新作物などを学習してみんなで生かしたい。 高齢者の楽しみをもう少し研究。
82	高齢化する中、担い手の確保。
84	条例を推進する地域推進委員会は、市内残すことなく設置する必要がある。
85	まちづくり活動への具体的な計画やイメージが確かなものとなっていないので不安感が先に立つ
86	活動の目的と期限を決めることができるか
87	市役所の職員さんが先頭に立ってリードしてもらう
88	旧浜田地域におけるまちづくりの機運

問3(3)まちづくり活動における課題

89	「まちづくり活動」に対する住民の意識、認識を深めることが課題では
90	若い世代子供たちの参加が少ない
91	公民館がまちづくり活動と地域が一体となっていない
92	分別がありすぎて自滅が多い。創造性の欠如、共通理念の欠如。
93	住民の無関心 まちづくり推進委員会や地域協議会に対して「何をやってるのかわからない」「つまらん」という声をあげるだけで知ろうとしない、参加しようとしない、応援しようとしない、協力しようとしない。
95	活動について無関心の人が多すぎる。またどうやって参加したらいいかが不明。
96	公民館主催での活動が多く、多忙ではと感じています。 今日の清国先生のお話を聴き、コミセン化では豊かさを感じるセンターであってほしいと思う。そして、地域の皆さんが気軽に集う拠点を願う。
97	まちづくり推進委員としても町内のために活動していますが、委員だけではなくもっと住民が参加しやすいことから考えて、みんなを巻き込んでの活動をしていこうと思っています。参加者を増やすことが課題です。（参加する人が決まっているから）
98	委員が一定で、若い人が会議等に参加しない。 委員も高齢化しながら身体に鞭打っている状況。若い人の新しい思想を求めたい。
99	財源の自由度が低い
100	将来を考えて子どもとの関わりを地域で考え、意見を出し合い、進めていくために町民との対話、交流づくりをする。組織作りが低いこと。
101	住民意識の醸成。危機意識。モチベーション。
102	まちづくり推進委員は自治会長会の推薦者となっており、委員の多くは自治会長の顔を立てて任期（2年）は委員職を務められ、1期で退任されます。 農村の封鎖的社会で上手に活きていくために、言わざる聞かざるの成人が多く、また長男世帯がほとんどで、Iターン者のように選んで住んでいる自覚は薄く、町に残った人たちは町の欠点ばかり指摘しています。その人たちをどう輝ける場を作られるか。マンパワー不足ですので10名を15名まで増やしてほしい。行政とまちづくり推進委員会の間にコーディネーターが不在で自治区の政策と見合わないことがある。
103	交付金の予算配分 地域が広すぎてなのか取組事業について関わりのほぼない地域があり、取り組みについての理解が難しい面があるように思われる。
104	現在のまちづくりを再検討すべきだと感じた
108	高齢化
109	市報etc読む人が多くなること
110	多くの人々を巻き込む仕組み。地域に住む住民の意識を高める。
112	まちづくりについて地域住民がどの程度把握しているのか
113	フォーラムにしても説明会にしても参加主催する方はいつも決まっている。こんな状態ではだめだと思う。みんなが出席できるようにならなければいけないと思う。
114	とにかく今の現状をどうして少しずつ考えられるか。過疎高齢化等。
116	私が住んでいる地域には公民館がなく地域での活動の場が不足しているように思う。 公民館だけが活動の場ではないと思うが何らかの場所が必要である。
117	各まちづくり活動を支援する中間支援組織がない。行政にも力量がない。早急に支援チームを！人材育成のプランを！R3からでなく今すぐ 住民自治の拠点整備の不備。全市や他の地域の取り組みを一文化して情報拠点がない。（ep図書館？）
119	自ら行動せず人に任せる（頼る）ような気質の人が多い
120	まちづくりにおいて若い世代が出ていける活動が少ない
121	今回をふまえ各地域での公民館単位で話し合いを開催しては！
122	いつも参加する人が同じで、無関心な人が多い。高齢化が進み、担い手不足。
123	リーダーがいない。金がない。若い人の協力足りない。
124	まちづくりということが地域全体に認識されていない現状がある（一部の人だけの活動）
126	まちづくりという言葉で活動が浮かんでこない。地域の各種の行事を指しているのかと思う。 市民誰もが「まちづくり活動といえばすぐにイメージできる」ようになることが必要かと思います。
127	人材の確保

問3(3)まちづくり活動における課題

128	まちづくりの中心を担う人材。活動を手伝う人材の不足。 地域住民がまちづくりに関心があまりない。まちづくりをアドバイスする人などいれば…。手探りで活動している。 学校との連携はまちづくり市民が介入するにはハードルが高い。教育的要素となるとよくわからない。公民館に相談するのか。
129	高齢者の移動手段。地域防災。
130	役員のなり手がいない
132	高齢化と人口減少。まちづくり活動に理解がある人がいない。リーダ不足。
133	まちづくり活動とは何なのかをまずみんなが知ることが課題だと思います
134	若い世代を巻き込むことが課題
135	全ての人が参加する活動は難しい。無理に強いることはかえって担当者の負担になることもある。楽しくできる活動を目指してほしい。
136	住民の無関心
137	まちづくり、公民館、自治会が一緒になって活動するのが難しい。一番の課題（考えなども大きく違うため）
138	市の職員が主体となるべき。地域リーダ不足→いろいろと見せて巡ることが必要。
141	一部の人の活動となっているが若い世代には情報があまりいかず自分たちとは関係ないところで行われているという状況になっている
142	社会（会社等）の理解。具体的な行動（わかりやすい）。まず市役所から動く、変える、理解をしていくべきでは。
143	若い方や子供などに今の状況を伝えること、しらない（若い人）方が多いと思う。
144	参加者が少ない。参加者が固定している。みんなが協力するという気持ちがあればと思う。
145	老害（プライドが高いために、若者に意見されるとすぐキレる）
148	まちづくりに対する認識が一人一人バラバラなこと
149	私は活動に参加したいと思ってますが、地域の役員さんに手伝わせてと言っても、清掃活動に出てくれれば充分との答えしか来ません。その割に「地域の人は何もしてくれない」と発言していて悲しく思います。地域の人は何もしてくれないのではなく、どう関われればいいのかわからないだけ。役員さんの問題かと思います。
150	お金の配分がなくなってもその事業が継続できるものに配分すべきである
151	アイデア、話し合いの場、声掛けなどの機会が少ない。今日言われたようにどの場所でもどこに何をしていてもチャンスはある。そこが大事ではないか。ここの場所でそれを目的にあらゆる人のあらゆるアイデアを出してもらうこと。
152	中心部から離れた奥部に住む私たちにとって高齢者社会の中で、足となる移動手段は大きな課題です。
153	若年層の取り組み
155	人づくり。行政の考えていることが不透明。行方がわかりません。住民は見えない不安があります。まちづくり先行で社会教育はどこへいくのでしょう？
156	住民の負担感軽減。楽しんで取り組めるか。高齢者の意識改革。少子高齢化社会において若い世代に委ねるだけでは成り立たない。若い世代も地域とのつながりを持つ。
157	まちづくり活動を立ち上げてから、活動するまでには地域の方の理解や役員の理解が進むのに時間がかかりましたが、現在は活動が広がり楽しんで下さる地域住民も増えよかったと感じているところです。課題はこれまで担ってきた役員の交代や次世代への継承。ひとづくり、発展的な活動を指導してくれる方が欲しいということです。
159	地域差がありすぎる。なるべくたくさんの住人を巻き込む方法を考えながら活動している。
160	まちづくり活動の理念をシンプルに表現してほしい
161	活動支援に関する財政的援助と行政の人材提供（例：地域担当制）。市長の説明は言い訳に過ぎない。
162	なかなか若い人が自治会活動などに参加しないので困っています。その人たちも楽しく参加できるような地域を作る。
164	それぞれがバラバラな方向を向いている。どうそろえていくか？
165	公共＝行政という考え方。この集合体を開かれた個としての「公」にする行政の役割、位置づけ。
167	「どうせ…」というやる気のなさを成り行き任せにしてきた長年の脳のアカ（サビ）を落とすことがとても大事なことだと思う
168	ごみ問題

問3(4)市民が自ら取り組むために何が必要か

1	つながり（町として、人として）
3	地域住民の全員参加意識の醸成。役員に任せっぱなし。
4	人による負担の大小の差が大きい。偏らない動き方を考えることが必要。
6	人づくりから
7	難しい内容が多く、どうしていくかが大切。
8	基盤ができてこそ、初めて市民自らがまちづくりに参加できるのではないか。
9	「人づくり」が主だという意見が多いけれど、では「人づくり」は具体的にどうするか、できるか（方法論）が問題である。 （例）年長者が意識的にその地域の若い人を巻きこむ、一緒に活動する、行動することかなと思う
11	まず中心となる人（リーダー）が必要だと思う
12	ふるさと教育を含め子どもを巻き込んだ魅力ある地域づくり、ふるさとへの愛着を。 若い世代がのびのびと地域活動ができるよう、先輩たちは控えめなアドバイスをすべき。
13	地域が高齢化し、車の運転ができない人が多く、どこに行くにも不便であり、高齢者は免許返納の問題もあると以前から思っていました。 事務員人づくりそして地育人づくりにすぐにでも取り組んでほしい。1年遅く取り組むと地域の状態はどうなるでしょう。
14	人を育てる。各自治区でその地域の特色ある町づくりをするために各自治区に権限と資金を与える。
15	個々人が関心を持つこと、持たせること
17	敷地に手間のかからない花を植える（草刈を減らす）。 作業できる人を募り、数人で協働を行う。
18	高齢化により人が少なくなる。市にお願いすること。自分たちで可能なできる限りやっていくこと。自助共助を考え予算化すること。発言し予算をとっていく、作っていく力をつけること。
19	課題を見つけ出し答えを導き出す。その中で地域は元気になる→これを実践せよ。行政のコーディネート。
20	意見交換会での意見が反映されたかが実感できない
23	話し合いの場、仲間づくり
25	地域の実情にあったまちづくりを推進することについて市の理解が必要
26	人材と補助金を行政に求めるようでは意味がない。行政にお金がないから協助が必要となり、自ら協働していくことが求められている。 自発的に取り組む意欲、動機付けのきっかけづくり、学校だけでないふるさと教育が大切と思う。
27	各活動団体の特徴を必要に応じて選択できる小規模の発信、収集できる状況づくり
28	今ある活動を評価しながら話し合っていく。 今福祉サイドでは生活圏域ごとに生活支援体制整備事業が進められています。そこそこで効果をあげています。縦割りでなく協働で進める必要があります。そのために、まずは行政の中で連携が必要と思います
31	部署にとらわれずいろんな場面での周知をすること。官民に限らず考えていくことが不可欠。
32	自治区制度からの脱却、誰かが中心となる必要がある。 各地域でそういう対話が進められるかが不安。
33	市民ひとりひとりがまちづくりの活動の取り組みを理解するように住民へ説明するなどすべきだと思います。
34	一人一人が自分の町が大好きと思うこと
35	ここで暮らしている地域住民への理解が必要。関わっている人の中にも理解せずに関わっている人もいる。「まちづくり」という言葉で濁しているようで、具体的に「まちづくり」とはこういう活動だということを丁寧に説明し、理解してもらい、自分事のように感じなければ進めていくのは難しい。
36	働き盛りの若者には時間がないと思う。集まって何かしようなんてとても嫌がります。 子育て保護者、PTAの意見をもっと聞きたい
37	企画、目標などが漠然としていても声掛けから始まる活動もあると思う。 難しいことを求められると誰も億劫になるので、まずはつながりと生き生きとを大切にするとどうだろうか。
39	人づくり、10回ありがとうが言える人
43	バカになって活動する
44	条例はしっかり、住民は柔軟に行えたらと思います。

問3(4)市民が自ら取り組むために何が必要か

46	意識を変えること 仕事をしているから忙しいからできないではなく、空いている時間にできることをしようとする考え方が必要
47	自分は関係ない、生活するだけで大変なのにさらに活動に加わることはできない、役は絶対に引き受けないといった考えは捨てて、損得勘定しないことが大切。 清国先生の講話にもあったように、損は徳に通じると思います。
48	発想の切り替え ないもの、できないことを探すのではなく、やりたいこと、自分の住む町の好きなところを探す、このことについて対話を進める。
49	浜田市の職員も市民の一員として年齢問わず取り組むべき。専門的な技術や知恵（情報）は一般市民よりはるかに持っていると思う。
50	誰かがリーダーではなく、活動自体に興味を持ち参画から関わりたいと思えるように
51	やる気のある若者の発掘、埋もれている人材は必ずいる 公民館の活動時間を夜間、休日など
52	まず活動ができる人達から始める。 余裕のない人も可能なところで少しずつ関わり、やがて（数年～数十年）時間的にゆとりができたころに中心となって活動していくような息の長い見通しと取組み。
53	若者が住めるまちづくりはどうすればよいか。 道路にはごみ、草が伸び伸びになっている。年に一度といわずに道路はきれいにしたい。
54	町単位。黒川町は7～8町内があり、すべてが参加してまちづくり協議会を設立するのは不可能。広すぎる。また県職員宿舎が一つの町内になっており難しい。
55	年代や性別によって価値観が異なる。どの価値観にも予算が出せる、やる気を出せるようにしたい。 専識者の話や事例をもっと聞きたい。職員研修（職員の意識統一）。
56	まずは話し合いだと思います
57	魅力あるまちづくりとは何か、常に考えているが見いだせない
58	地域コミュニティの個性を生かしていけること
59	働くことができる人、登録してくださる方があれば助かります。
60	活動を続けるには、ほしい方と提供する方のマッチングが必要だと思う。 コーディネーターの存在
61	輪切りのしくみ。とくいバンク。
62	人の意見を聞く、温かく受け止める人材育成が重要。多様性を認める。
63	一人一人が自分ならこれはできるとか、あれは無理とかという個々の人の参画する意欲をどう高めていくか。何かに参画する人を地域で増やしていくことをしていく。
66	催しの企画。参加への誘導（声掛け）。
67	まちに40～50年前から存在した町の「結婚」世話役の存在が望まれる。
69	人づくり地域づくりを大切にする。信頼される人がリーダーになる必要があると思う。
70	建設的なことを話せる仲間づくり
71	気軽に集まって話のできる場（コミュニティ）、（人の意見を尊重したうえでの話合い）
73	みんなの考えがまとまらないとなかなか進めることができない。そのためにはみんなが集まれる場所とか時間を作ってもらいたい。
76	人が減ってはすべてが衰退する。人口減に歯止めを行い子供の増加に新たな施策が必要と思う。
77	自分たちの地域を住みやすくしようという機運づくり。我事と受け止める仕掛け、出番をつくる、居場所をつくる。地域愛を育む仕掛け、人づくり、リーダーの育成などなど
80	住民の参加。リーダー不足。
81	みんなで支えあう心構えの醸成。みんなで携え合っていきたい。
82	子どもとの交流（帰属意識の醸成）
85	初期のある程度のところまでは行政の指導（主導）が必要だと思える。例えば自治会組織への強い働きかけ。
86	住民がメリットに感じられることを成し遂げるための活動。例えば地域の人々の所得を上げる企画、地域の不備不満の解消を図る企画。
88	公民館を大切にすること
89	地域の多くの人が参加できることが大切だと考えます。どうやれば広く参加してもらえるのか周知方法も考えるべきかなとも思います。
90	自分自身が楽しんで活動する
91	今日の話にも合ったように話し合い、それで納得のいく結論がなければ前に進んでいけない。納得のいく結論が大切。
92	夢をあきらめない。バカになる。がんばらない。

問3(4)市民が自ら取り組むために何が必要か

93	各自治区共通していると思うが、まちづくりに限らず、様々な活動をする組織やグループ、サークルなど、そこに参加している人が偏っていて、いつも同じ人たち、顔触れであることが問題であり、活動の裾野が広がっていかない。 「笛吹けども踊らず」をどう克服するか。そこが大きな壁であり、越えなければいけない壁だと思う。
95	年齢層別の集会等の開催で様々な意見を集める
96	既存のまちづくり委員会は一生懸命にいろいろな活動をしておられます。この活動が持続できるように人材育成が必要だと思う。
97	活動的なリーダーの育成（名ばかりのリーダーではだめ）
98	各自が危機感をもって取り込むこと。長い目で見て解決できる取り組みを。
99	人材バンク制度は良い制度と思う
100	現在自治公民館となって活動しており、今後は行政とタイアップしてサロン活動が多くできる状態となれば少しずつから大きな広がりとなって行うことが必要となる。
101	地域住民のポジティブな対話
102	一体的なまちづくりと言われるが、それでは市議会議員の民主主義、数の理論で地域の独自の豊かさの価値が切り捨てられると思われる。住民主体のまちづくりと言いながら、一体的では金太郎飴になってしまうと思います。
104	地域の共通課題を見つけて取り組めば、みんなが参加しやすくなると思います。 お金があるからと色々手を広げず、しぼって取り組んだ方がいいと思います。お金をもらえる団体とそうでない団体があり、不公平感が地域であります。その辺も解消すれば協力も得やすいのでは
105	フォーラムの回数を増やし、市民一人ひとりの意識を上げていく。
107	行政職員やOBが積極的にまちづくり活動に参画すべき
108	子どもの時から参加できる活動。参加するだけでなく、考えることも行い、実践する。
109	街の清潔感
110	人づくり。地域に愛着を持った子どもを育てる。
111	定確な人材と資金
112	まちづくりの必要性を理解してもらうこと。 地域課題を見つける→簡単なことではない 若い人と高齢の方では考え方が違う。その中で、共に進めていくというのは難しいと思う。しっかりとした説明をしてもらいたい。
116	ひとりひとりが活かされ輝くための学びの場と活動の場が欲しい。私の地域では日常的に集まっておしゃべりをする仲間が多くいますが、いつも出る話は「みんなで集まって活動する場がない」ということです。なんとかならないのでしょうか。
117	公民館機能の充実：住民自ら対話し、どんな地域にしたいのかのビジョンづくりや、そのための活動づくりがすすめられること。強いリーダーでなく、楽しみながら参加し、少しずつ中心的な役割を担ってくださる次世代を育てること（正統的周辺参加）。 協働についての学び・理解（特に行政）。
119	あらゆる機会（市報、新聞等あらゆるメディア）を通じて地域の現状を伝え、課題を考えてもらい、どうしたらいいか自ら考えてもらう体制づくり
120	若い子供達が地域の魅力や地域の活動に参加できる取り組み。子供達が学校からボランティアとして地域に出ていけるように学校と公民館の連携が必要。
121	公民館から地域町内会へと小さい集まりで話し合う機会を！
122	財政的な面で資金不足なので助成金をお願いしたい。
123	市民の協力精神を高めることが必要
124	人づくり（リーダー）、つながり作り
126	小さな地域で主体がいろいろあると紛らわしいので、組織をまとめる必要がある。一人が重複した役割をもっていて広がりがない気がする
127	行政方が地域の皆様に分かりやすく指導する
128	地道に市民の集まりなどに説明していく。登録制などしてはどうか。どうゆう活動なら協力できるかなど。すべて無料ボランティアでは市民の負担が大きい。何らかの報酬があれば。講演会で先生がおっしゃっていた100～200人程度のコミュニティで顔の見える関係性を築いていった方がまちづくりを活動するにも負担が少ないと思う。
129	人、組織、住民の雰囲気
130	まちづくりへの参画が自分の生き方に資することが理解できる（意識改革が不可避）
132	きめ細やかな情報発信
133	市民の目線に立った「まちづくり」を分かりやすく伝えていくことから始めてほしい。

問3(4)市民が自ら取り組むために何が必要か

134	今は一部の人間しかまちづくりに関心がない。子供から大人まで全市民にまちづくりが必要な理由やまちづくりとはどんなことなのか啓発する必要がある
135	こども会と自治会の両方するなど大変な方もおられるのでは。自治会活動自体が負担になっている方も多く、若い人は今後さらに負担が増します。目標をきちんと定めて市民の負担にならないように。
136	難しい
137	市民一人一人が今置かれている状況を理解し、我が事と思わないと難しい。若い人は特に自分の生活に一杯一杯でまちづくりまでに気持ちがいかない。そのための学びが必要か？
138	市の職員が主体となるべき 地域リーダ不足→いろいろと見せて巡ることが必要
141	同じ世代の人が参加するようになればいい。子どもも巻き込んで事業を行うと良いと思う。
142	見本が必要！きっかけ作りが必要。新しいことをするのは先が見えない不安があります。言うだけでなく行動で導くのが今必要だと思います。
143	小さい子供から高齢の方まで交流の場を増やしてほしい
144	地域がみんなつながりあえる気持ちを持つにはどうしたらよいか、みんなが協力しようという気持ちを持つにはどうしたらよいか、こちらが教えてほしい。
149	ずいぶん上から目線の質問ですね。ではあなた方、市の職員は地域に出てきちんと活動していますか？逃げ回っているように見えますが？
151	各々の場所、一回出会いを大切にし、考えていく、取り組むこと。いかに他者を巻き込んでいけるか。「どんなこと、具体的には、どこでもできるとは限らないけどヒントになるかも？」ということを教えてほしい
152	公民館又は地域の拠点となる近い場所につながりを作っていく
153	その地域にある企業、事業所の協力
154	住民同士の対話が必要だと感じた
155	コミセン化≒まちづくり推進。まちづくりは何のため、誰のため？今地域が抱えている課題がこのままコミセン化を進めていくことで解決していくのでしょうか？そう思えない不安があります。
156	つながりづくりと合意形成できる仕組み。関係人口何を求めるか。
157	意見交換をする場をもち、住んでいる身近な住民同士が顔見知りになること。
159	行政の牽引、専門家のサポート
161	行政の意識改革（人材育成を含め）。特に公民館は直営であるべきと考える。
162	皆さんに自治会等々の役を引き受けてもらうために積極的に参加してもらうようにお願いして町を活発にしてほしい。
165	住民一人一人の主体者（自ら課題を見出し、解決に向けて取り組むという）覚悟を醸成し、一人一人をつなぐ社会教育の意図的推進
166	現場リーダー→外部の人ではなく地域に根差した人 あらゆる分野のつなぎ役となる行政セクション
168	具体的な提案

自 由 意 見

7	パネルディスカッションのテーマが今一わからなかったです。地域人材育成のための研修が大切だと思います。意見でもありましたが、まちづくりの意味がよく理解されていない方もいる。ここをどのようにわかってもらえるかが大切。基調講演はとてもわかりやすくよかったです。
8	現在あるまちづくり交付金は失敗だったのでしょうか？これをゼロにして新しくするのか、どうなるのでしょうか？
9	今回のフォーラムを聞いて、特に会場からの意見で「まちづくり」の理解にずいぶん温度差がある。言葉の理解、意味の理解で、トンチンカンの理解の人もいる。こうしたフォーラムを（説明を）地域単位で実施する必要がある。まちづくりの理解度があまりにも人によって違いすぎることに驚いている。
10	今日のパネルディスカッションで課題が再認識できました。まちづくりの言葉を理解、考えている地域に大きな格差があると感じました。こうした背景に進め方は多様であると感じました。
11	今日初めて参加したので、もっとまちづくりについての情報発信やPRをしていくことが大切だと思う。
12	20代30代の若者が活躍できる場づくり。コミセン化は望んでいます。経済活動で経費が賄える街づくりが必要かな。地域の特色を生かした〇〇方式（多様性）のまちづくりもあって良いかも。
13	高速バスについて、中筋停留所にすべて停車なしとなり非常に困っています。病院、買い物、子供の処に行くのに便利なバス停、大阪、岡山、広島、空港他路線乗り換えのできるところです。せめて朝1便帰り1便あればいい。新幹線につないでいるだけでいいのでしょうか？バスを利用している人の意見を聞いてほしい。防犯についても良いです。地域・田舎に住めない政策をされているように思います。老人がなくなるのを待っているような気さえする。早く手を打たないと遅いと思う。
14	たくさんの参加者がいて少し驚きました。協働のまちづくりに関心をもっている表れだと思います。地域担当職員は必要だと思います。
19	市が、行政が構想して姿を描き、地域本位、住民主体で進めよ。
20	基調講演でのプロジェクターの文字が緑色で見えにくかった。
23	公民館をコミセン化して、中山間は切り捨て？自治区制度はもういい、やめてほしい。浜田市が一体とならない、分断状態。
25	市が思っている以上に、もっと市民が意見できる場づくりが必要だと思う。
28	まちづくり・地域づくりの概念の勉強をしてみたいと思いました。 時間内に終わるとなお良かったと思います。
32	制度、仕組みの構築も必要だが、その中身となる住民の動きをどう作るのかが重要と考えます。
36	各地域のまちづくりも活動に苦労されているようです。行政での情報提案も必要だと思います。
37	今日初めて「あったかいいねっと」を知りました。このように情熱をもって活動されている方がおられるのだと思います。いろいろな方の活動の報告を聞きたいです。
38	人とつながり、汗を出して地域をよくしていこうという気持ちがない人が多い。公民館や町内会を大切に思っていない人が多い。
45	人づくりに力を入れてと言われていますが、高齢化の上子供がいない地域です。いくつもの役を持って苦しい地域づくりをしています。 地域に行政の人が関わって橋渡しをしてほしいです。
46	公民館の館長を集めてのコミセン化検討部会は無意味だと思う。具体的に作成したA案B案等のたたき台をつくって話を進めたほうが良いと思う。
49	これまで行ってきた「公民館研修集会」の流れを酌んでの協働のまちづくりフォーラムにして頂きたかった。椅子に3時間座りっぱなしでは疲れます（少し休憩はありましたが）。話を聞くだけでは、学びがあったとは言えない気がします。パネラーの皆さんの思いはわかりました。
50	浜田市内の方のご理解をきちんといただかないと…。旧郡部の方との温度差を感じました。同じラインでスタートにできるのでしょうか。
51	会場からの意見であったが「まちづくり」の意味がわかりにくいという意見は本当の課題なのかもしれない。地域が今後寂れていくのをなんとかするみたいな、難しいですね。
53	一人一人が意識改革して地域づくりに参加したい。コミュニケーションを図り盛り上げていく。若い人も参加するまちづくりを。

自 由 意 見

54	浜田市のまちづくりとはなにか不明。公民館がコミュニティセンターに変わり、まちづくり機能の核となればいいと思います。
56	市が浜田市の未来像を明確に示したうえで、各市町村の計画を示してほしい。 住民内だけでは突破できないことがある。行政がもっと地域に出てきて主導をとってほしい。住民との話し合いでどうすれば解決できる？が突破できない時に頼れる人が欲しい。
58	目を見張るような減税対策で移動してきてくれる人を増やし、市の税収増にもつながるような取組を考えてみるのはいかが？子供が増える地域が必要。
61	１つ１つ、目の前の笑顔と小さな幸せをたくさん作れる、小さな幸せがたくさんあるまちに
62	浜田市はまだまだ自由に意見を言って受け止めてもらえるまちではない。だから意見が自由に言えない。若い人の意見をどこでどうやって取り入れていくのか。
63	公民館は社会教育、まちづくりの中心となる。すべての住民のコミュニティセンターとなる。館長主事も超多忙なので、行政のサポート（まちづくりのスペシャリスト）を何館か複数のまちづくりを支援して公民館に専任（行政職員又は民間スペシャリスト）。事務局に特化できる体制も必要ではないかと思っています。
66	ふるまい向上に向けた施策
67	ずばり、今後「少子化対策」でフォーラムを設定すべき！
70	地域によって事情も危機感も異なると思います。自分が楽しく生き生きと暮らすことを大切にしながら、子供や若い人を大切にして育てていくにはどうしたらいいかを考えるしか方法はないと思います。一人でなく、誰かと一緒にすることを見つけるようにする。
71	自治区制度が無くなっても各町ごとに特色のある地域性を持った活動ができるように、支所単位で十分活動ができるのか、ひいては浜田市全体の発展になると思っています。浜田市以外の町がすたれていかないよう計画・予算等お願いします。
74	今までのように何もしなくて済む機運を変える必要があるのに、やれるものでやってくださいとの雰囲気で力強さがない。
75	久々に清国先生のお話を聴く機会をありがとうございました。講師の選定に感謝します。 新しいまちづくりの仕組みを構築するのはとても困難なことだと思いますが、コミセンの中に社会教育の必要性が引き継がれていくなら時間はかかっても成功すると思います。
80	浜田自治区の拠点不足。人材不足。
81	こういったフォーラムは、広い視野の先生の話で私たち聴く者には心が広くなっていき勉強になります。
85	確かな組織作りが肝要で抄連は避けた方がよい。 地域の個性を認めるべきだ。終了時刻を守られたい。
86	若者の定住のためには所得が一定以上望める地域になるよう、大人たちは頑張る必要がある。
91	市民がもっと自分事として関心を持っていくこと
92	軍事産業の積極的誘致、浜田港はイージス艦の港 移民の受け入れをすすめる 理念を共有するのが大事で、SDGsが共有しやすい
93	浜田市役所の中で、まちづくりを担当しているのはまちづくり推進課なのかもしれないが、関わりとしては建設産業課も防災自治課も市民福祉課も教育部もすべて関係しているのに、あまりにも多くのことが縦割りであり横断的な取り組みがされないことが最大の問題である。
95	地区町内会等での住民への問題提起。まちづくり助成金の使用、使途の提出書類の簡素化
97	近所の付き合いを大切にするような、人と人とのつながりが必要だと思います。 市民が参加しやすいイベント等を考えてほしいです。 報告資料を簡単にしてください。
107	浜田自治区内のまちづくり委員会未設置地域を課題として設立強化に取り組むべきだと考える。
109	私の来る場所ではなかったと感じましたが、お話を聴いていることだけでもいいと思いました。一人でも多くの人が現実を知ることが必要と思います。
110	清国先生のお話は気づかされる点が多く、大変ためになる内容でした。もっと多くの人に聞いてもらえるといいと思いました。
112	まちづくりを進めていくにあたり、各自治会（町内会）からもっと参加してもらう必要があるのではないか。参加人数が少ない。開催案内が遅いと思う。もっと早めに案内、周知していただきたい。

自 由 意 見

114	今日の講演は大変勉強になりましたが、事前にもう少しくわしい講演内容が知りたい。大事なところのメモを取るのが間に合わない。
116	「この地域のために、この市のために自分に何ができるのか」トップダウンではなく、地域住民が主体的に参加できる学びの場が必要であると考える。
117	市政が目指す地域像と住民の願う地域像がずれていないか。教育や子どもへの視点が弱い。ふるさとのための子どもがいるのではなく、子どもにあたたかい地域、ふるさとがあるのですが…。豊かさ、暮らし方、清国氏の言葉につながるもの。若い人がこのまちを考えられる仕掛けが必要。男性が多く、年齢が高いフォーラムでは未来が見えない。地域通貨の仕組みと得意バンクが連動したらおもしろいかも。いずれも中間支援が浜田市は脆弱。協力もするので頑張りましょう！
121	ケーブルテレビ等で流してみては。学校単位としての地域対話。（学校評議員会・PTA評議員会、子供の地域環境等々）
122	特に山間部には人材不足もあり、老人ばかりで何をするためにも人手がかかります。公的機関のないところでは若い人に来てほしくても、生活しづらい。
128	それぞれのまちづくりの抱える世帯や人口が違うが、中心的役割を担っている人はそう変わらない。世帯の多いまちづくりは大変だと思う。活動の周知・広報作業だけでも時間がかかる。また公民館が関わっているまちづくりもあるが、全くかかわりないまちづくりは市民がすべてを担っているのは負担が大きい。しかもそれがボランティアというのもやるせない。世の中（都会では）つながりを持たずとも暮らせています。それとは逆のことをしようとしているのですから、大変で一筋縄ではいかないとは思います。
129	日進月歩、日々進めるためには、人が動き形となる。←働きとなる。
130	まちづくりの指針を早く提示してほしい。行政が進もうとしている方向が見えない。住民主体に向けて、行政の支援不足を痛感します。
134	まちづくりって何と思っていた。要は地域の課題を解決することだと理解した。まず地域の課題を探すことから始める。
135	行政連絡員だけでなく地域社協を通じて、福祉委員の皆様とも進めていくことも一案ではないでしょうか。
142	岩﨑さんの発言は具体性があり、聞きやすかったです。具体的な問題点など、分かりやすかったです。
144	他地区の方の話を聴ける場面もありよかった。もっと広く浜田のいろいろな所がどのようにまちづくりをしているか知りたい。上からの意見より各地域の現状を市民が知ることから始めるべきだ。人づくりにお金をかけて、箱づくりにはお金をかけないでほしい。
149	浜田市が言う協働の中には「市役所」が入っていません。市民と市民の協働ではなく、協働の中に市役所も入るべき。市職員ではなく、市の各担当課がきちんと役目をはたしてこそ協働では？やねだんの事例は市民が目指すものだけど市が掲げてはだめ。市がそれをいうと丸投げになるだけ。無責任行政になってしまう。
150	パネラーに発表内容について事前に伝えてあったのかどうか
151	何か少し見えてきた気がしました。何をどうしていくのか？考えてばかりでなく動くにはどうしたら？と、取り組む仲間を増やす、声掛け。最後まで聞きましたが、今までやってきた上に、それぞれがばらばらだったのが一つにまとまっていくことが大切だと思いました。
153	地域によって、まちづくり活動の進捗状況が大きく違うことがわかった。これをどう一体的なまちづくりにしていくのか？条例にどう反映させるのか？
155	清国先生のお話、もう少し参加された地域の方々に聞いていただけたらよいと思いました。まちづくりに必要不可欠なのは人づくり、社会教育は大切です。先生の資料がなく残念です。メモを取っておられる方も多かったように思います。協働のまちづくりがテーマならパネルディスカッションではなく参加者全員ワークショップでもよかったのでは。まちづくりとは？というところ温度差（参加者の認識の差）が大きくて研修が全体的にぼんやりしていました。
157	今後のまちづくりの進み方に注目し、自分では何ができるか？公共のためにひと肌脱げる人とつながっていくための努力はやり続けると思う。
159	目指す方向を示してほしい。具体的なアドバイスをくださる方が欲しい。
161	「過去（歴史）を学び、今を見つめ将業を図る」という基本からすれば、共通の理念の醸成に更に不安が増してきた。
163	サンビレッジ浜田の跡の場所ですが、あの辺りを運動公園にしてほしい。どこに行っても大きな公園があるのに、浜田にはないので作ってほしい。（野球、サッカー、競技いろいろ）

自 由 意 見

164	まちづくりって何ってところをもっと耕していくといいと思います。
165	「まちづくり」という狭い視点ではなく、社会教育、学校教育、福祉、産業なども一体化した中での取り組みを考える。パネラーとして市長が登壇するのは違和感。
166	長畑先生も言われましたが、「まちづくり」より「地域づくり」の方がわかりやすいと思います。
167	個人の意識や既存のまちづくり活動の進捗状況により、小規模な学びを重ねた上での大きなフォーラムにした方が親切かもしれない。質問から思いました。
168	生きがいや求められうように関係性が広がればいいなと思いました。